



↑ あく手をする大田先生、だて町長、北川市長(左から)

5月6日、いわ手県いわいずみ町のだてかつみ町長さんが昭島市やくしょに来て、3月27日から1ヶ月間の昭島市しょくいんはけんたいの活やく、生活にひつようなものやお金などのおくりものにたいして、北川市長におれいの言ばとかんしゃじょうをおくつてくれました。

そのとき、昭島市のおいしゃさんの会からいわいずみ町へ2台目の自どう車(雪道にも強い車)をプレゼントする会も行われ、大田先生にもかんしゃじょうがおくられました。

いわいずみ町長から昭島市へのかんしゃの言ば

いわいずみ町長のだてかつみです。

昭島市のしょくいんのみなさんにおれいの言ばをつたえたいと思います。

地しんの後、すぐに生活にひつようなものをおくつていただき、また、北川市長さんやしょくいんのみなさん、昭島市みんなのみなさん、昭島のおいしゃさんの会のみなさん、東京とのおいしゃさんの会のみなさんからたいせつなお金やたくさんのをいただき、本当にありがとうございます。3月27日から4月27日までの1ヶ月の間、20人をこえるしょくいんのみなさんがいわいずみ町に来て、ひなんしょでのしごとのおうえんをしてくれました。地しんのためにたくさんのしごとでつかれていたいわいずみ町のしょくいんのかわりに、たくさんのおてつだいをしてくれたことにかんしゃします。

東日本大しんさいで、いわいずみ町はとても大きなひがいをうけました。つなみで202の家がこわれ、9人ものたいせつないのちがうばれるなど、今までけいけんしたことのない大きなさいがいとなり、今でも200人をこえる人たちがひなんしょで生活をしています。この地しんは百年に一ど、千年に一どの大きなさいがいとも言われていますが、わたしは自ぜんのすごさの前に人間がなににもできないことを強く思い知りました。それでも、地しんから50日がすぎ、少しずつ、町はおちつきをとりもどし、また、かりにすむ家のこうじも進むなど、町のたてなおしにむけてかくじつにすすんでいます。わたしは、多くのひがいをうけた人やなくなった人のいわいずみ町へのふかい思いをうけつぎ、きぼうあふれるみ来を少しでも早くきづくため、ぜん力でいわいずみ町をたてなおそうと心にきめたところです。

わたしは、これまできずいてきた昭島市といわいずみ町のきずなが本当にありがたいものであることを強くかんじています。これからも、ずっと、なかよくしていき、昭島市といわいずみ町のかんけいをもっとよくなるようにのぞんでいます。これからも、きょう力をおねがいします。

さい後に、北川市長さんをはじめ、昭島市しょくいんのみなさん、昭島市民のみなさん、昭島市のおいしゃさんの会のみなさん、そして、東京都のおいしゃさん会のみなさんにあらためておれいを言いたいと思います。

本当にありがとうございました。

同じ日に、これから一年間、昭島市やくしよでしごとをすることになった、いわいずみ町しょくいんのさわぐちこうじさんがだて町長さんといっしょに北川市長のところへ来ました。



↑北川市長からじれい(しごとの内ようについて書いてある紙)をうけとるさわぐちさん



さわぐち こうじ さん

いわいずみ町から昭島市に来て、じどうかかり(子そだてをたすけるかかり)でしごとをすることになった、さわぐちこうじです。

地しんの後、昭島市の人たちがいわいずみ町をたすけてくれたことに心からかんしゃしています。一日も早く、昭島市になれ、おんがえしもふくめて、せいいっぱいがんばりたいと思います。よろしくおねがいします。